

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2006-178944(P2006-178944A)

【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2005-348030(P2005-348030)

【国際特許分類】

G 06 F 17/21 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/21 5 7 0 R

G 06 F 12/00 5 1 3 A

G 06 F 17/21 5 7 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワードプロセッシング・アプリケーションによって作成された文書を表すためのファイル・フォーマットであって、前記ファイル・フォーマットは、コンピューティング装置内に実装されたモジュラー・コンテンツ・フレームワークで文書を表し、前記ファイル・フォーマットは、

それぞれが、論理的には個別であるが、1つまたは複数の関係性によって関連付けられた、複数のモジュラー・パートを備え、

各モジュラー・パートそれぞれは、1つの関係性のタイプと関連付けられ、

前記モジュラー・パートは、

文書のプロパティのガイドとして動作し、モジュラー・パートである、文書パートを含み、

各モジュラー・パートは、他のモジュラー・パートが問い合わせされずに個別に問い合わせされることができる特徴とするファイル・フォーマット。

【請求項2】

前記モジュラー・コンテンツ・フレームワークは、前記モジュラー・パートに関連付けられたファイル・フォーマット・コンテナを含み、前記モジュラー・パートは、

前記ファイル・フォーマットに関連付けられた組み込みプロパティを収容する文書プロパティ・パートと、

前記ファイル・フォーマットに関連付けられたサムネイルを収容するサムネイル・パートと

をさらに含む特徴とする請求項1に記載のファイル・フォーマット。

【請求項3】

各モジュラー・パートは、前記文書から抽出およびコピーしたパートであることが可能であり、再利用されるモジュラー・パートの関係性をトラバースすることによって識別された関連モジュラー・パートとともに、異なる文書で再利用できることを特徴とする請求項1に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 4】

前記モジュラー・パートは、
前記文書に関連付けられたコメントを含むコメント・パート、
前記文書に関連付けられた様々な単語の定義を含む用語集パート、および
前記文書のテキストに関連付けられたデータを含むチャンク・パート
のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 5】

前記モジュラー・パートは、前記文書に読み込み、変更することができるカスタマイズされたデータを含むユーザ・データ・パートをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 6】

前記モジュラー・パートは、
前記文書に関連付けられた脚注を含む脚注パート、
前記文書に関連付けられた文末脚注を含む文末脚注パート、
前記文書に関連付けられたフッタデータを含むフッタ・パート、
前記文書に関連付けられたヘッダデータを含むヘッダ・パート、および
前記文書に関連付けられた書誌の少なくとも 1 つの書誌データと基礎データを含む書誌パート
のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 7】

前記モジュラー・パートは、
前記文書に関連付けられたスプレッドシート・オブジェクトを定義するデータを収容するスプレッドシート・パート、
前記文書に関連付けられたオブジェクトを収容する埋込みオブジェクト・パート、
前記文書に関連付けられたフォントを定義するデータを収容するフォント・パート、
前記文書に関連付けられたオブジェクトを収容する描画オブジェクト・パートであって、前記描画オブジェクトは、描画プラットフォームを使用して構築される、描画オブジェクト・パート、
前記文書のユーザが電子メールを介して文書を送信した場所である封筒データを収容するメール封筒パート、
前記文書に関連付けられたコードを収容するコード・ファイル・パートであって、外部リンクを介してアクセスすることができるコード・ファイル・パート、および
前記文書に関連付けられたハイパーリンクを含むハイパーリンク・パートであって、1 つのユニフォーム・リソース・ロケータ (Uniform Resource Locator) を備えるハイパーリンク・パート
のうちの少なくとも 1 つをさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 8】

少なくともいくつかの前記モジュラー・パートは、コレクション・タイプで編成され、前記コレクション・タイプは、
前記コード・ファイル・パートを含むコード・コレクション、
前記描画オブジェクト・パートを含む画像コレクション、
前記ユーザ・データ・パートを含むデータ・パート
前記埋込みオブジェクト・パートを含む埋込みコレクション、
前記フォント・パートを含むフォント・コレクション、および
コメント・パート、前記脚注パート、前記文末脚注パート、前記フッタ・パート、前記ヘッダ・パート、および前記書誌パートのうち少なくとも 1 つを含むコメント・コレクション

のうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 7 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 9】

前記モジュラー・パーツに関連付けられた関係性タイプは、潜在的に有害なコード・ファイルを識別することができるコード・ファイル関係性と、ユーザ・データ関係性、ハイパーリンク関係性、コメント関係性、埋込みオブジェクト関係性、描画オブジェクト関係性、画像関係性、メール封筒関係性、文書プロパティ関係性、サムネイル関係性、用語集関係性、チャンク関係性、およびスプレッドシート関係性、のうち少なくとも 1 つを備えることを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 10】

前記文書のコンテンツは、前記文書から抽出およびコピーされ、異なる文書で再利用されるコンテンツであることが可能であることを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 11】

各モジュラー・パーツは個別にロックされることが可能であり、それ以外のモジュラー・パーツはロックすることができる状態にあり、それによって、複数の編集者が、それぞれ同時に、前記ファイル・フォーマットの 1 つのモジュラー・パーツを編集することができるることを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 12】

前記モジュラー・パーツは、モジュラー・パーツが問い合わせされたときに、前記文書内のコンテンツについてのセマンティクスを提供することができることを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 13】

前記ファイル・フォーマットは、前記文書内の各ページについてのサムネイルの高解像度のプレビューを提供できることを特徴とする請求項 3 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 14】

前記ファイル・フォーマットは、マークアップ言語フォーマットおよびバイナリ・フォーマットのうちの少なくとも 1 つにしたがって、フォーマットされることを特徴とする請求項 1 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 15】

少なくとも 1 つのモジュラー・パーツは、前記少なくとも 1 つのモジュラー・パーツのコンテンツ・フォーマットを宣言するコンテンツ・タイプを含み、それによって前記コンテンツ・タイプについてのクエリが、クエリされる前記少なくとも 1 つのモジュラー・パーツの前記コンテント・フォーマットを識別することを特徴とする請求項 1 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 16】

宣言された前記コンテンツ・フォーマットが正しくないときに、前記ワードプロセッシング・アプリケーションは、前記少なくとも 1 つのモジュラー・パーツを開くことに失敗することを特徴とする請求項 15 に記載のファイル・フォーマット。

【請求項 17】

ファイル・フォーマットで文書を表す方法であって、前記文書に関連付けられたモジュラー・パーツは前記ファイル・フォーマット内に書き込まれた各パーツを含み、前記方法は、

前記ファイル・フォーマットの第 1 のモジュラー・パーツであって、前記文書のプロパティ用のガイドとして動作可能な文書である、第 1 のモジュラー・パーツを書き込むこと、

論理的には前記第 1 のモジュラー・パーツとは別であるが、1 つまたは複数の関係性によって前記第 1 のモジュラー・パーツに関連付けられたモジュラー・パーツに関連付けられている関係性タイプに関して、前記文書をクエリすること、

前記第1のモジュラー・パーツとは別の前記ファイル・フォーマットの第2のモジュラー・パーツを書き込むこと、および

前記第1のモジュラー・パーツと前記第2のモジュラー・パーツとの間に関係性を確立すること

を備え、

各モジュラー・パーツは、他のモジュラー・パーツが問い合わせされずに、個別に問い合わせされることができる特徴とする方法。

【請求項18】

関係性タイプに関連付けられた他のモジュラー・パーツを書き込み、共有される前記他のモジュラー・パーツが1回のみ書き込まれること、および

書き込まれた前記他のモジュラー・パーツとの関係性を確立すること

をさらに備えることを特徴とする請求項17に記載の方法。

【請求項19】

前記関係性タイプに関連付けられた前記他のモジュラー・パーツを書き込むことは、

a) 前記文書に関連付けられたデータを調べること、

b) 調べた前記データが、モジュラー・パーツに書き込まれたか否かを判定すること、

c) 調べた前記データがモジュラー・パーツに書き込まれていなかつたときに、前記モジュラー・パーツに書き込み、調べた前記データを含めること、

d) 前記文書に関連付けられた他のデータを、調べたか否かを判定すること、

e) 前記他のデータを調べていないという判定に応答して、前記文書に関連付けられた前記他のデータを調べること、および

b) からe)まで繰り返すこと

を備えることを特徴とする請求項18に記載の方法。

【請求項20】

モジュラー・パーツを備えるファイル・フォーマットで、コンピュータに文書を表すようにさせる制御論理を有するコンピュータ・プログラムであつて、前記ファイル・フォーマットの前記モジュラー・パーツは、前記ファイル・フォーマット内に書き込まれた各パーツを含み、前記制御論理は、コンピュータに

前記ファイル・フォーマットの、前記文書のプロパティ用のガイドとして動作可能な文書パーツを書き込むこと、

論理的に個別であるが、1つまたは複数の関係性によって関連付けられた、モジュラー・パーツに関連付けられた関係性タイプについて前記文書をクエリすること、

前記文書パーツとは別の前記ファイル・フォーマットの前記モジュラー・パーツを書き込むこと、および

書き込まれた前記文書パーツと前記モジュラー・パーツとの間に関係性を確立することを実行させることを特徴とするコンピュータ・プログラム。